

ほんがいっぱい よんでみよう!



5・6年生のための本

① 『菜の子先生がやってきた!』

な こせんせい
とみやすようこ さく ゆ う じ が ふくいんかんしよてん
富安陽子／作 YUJI／画 福音館書店 《Fト》

どこのクラスかわからないけれど、菜の子先生は学校にいます。春休み、放課後、授業中…菜の子先生は突然現れます。先生のまわりは不思議なことだらけ。脱走した桜の木をつかまえたり、空を泳ぐ練習をしたり、夜空を作る大実験も!あなたも菜の子先生に会えるかもしれませんよ。運がよかったらね。



② 『ラモーゼ (上・下)』

キャロル・ウィルキンソン／作 入江真佐子／訳 くもん出版 《Fウ》

次のエジプト王 (ファラオ) になるはずだった王子ラモーゼ。しかし、ラモーゼの弟トトメスを次のファラオにしたいと思っている現王妃たちに、ラモーゼは暗殺されかける。身を守るために、ラモーゼは身分をかくして、ファラオの墓をつくる仕事をするようになった。ラモーゼは、宮殿にもどることができるのか!?



ところざわしりつところざわとしょかん
所沢市立所沢図書館 2015年

③ 『Eメールと探偵たち』

たんでい
エーリヒ・ケストナー／作 さく たかはしけんじ やく いわなみしよてん
高橋健二／訳 岩波書店 《Fケ》

Eメールは、おばあさんの家に行くために、大金をもって汽車に乗った。ところが席に座ってねむっている間に、大金がなくなってしまった。あやしいのは、向かいの席に座っていた山高帽の男。その男が途中の駅で降りていくのを見つけたEメールは、あわてて後を追いかけるが…。



④ 『わたしたちはいのちの守人』

もりびと
いわさだ ちよ
岩貞るみこ／著 こうだんしゃ
講談社 《36》

「看護師」といっても、働く場所や仕事の内容は様々です。ドクターヘリで患者を病院に送り届けるフライトナース、病気と闘う子どもを支えることも病院の看護師、そして、命の誕生に立ち会う助産師。命と向き合い、患者の気持ちに寄りそいながら働く三人の「いのちの守人」の奮闘記です。



⑤ 『月へ行きたい』

つき い
まつおかとおる ぶん え
松岡徹／文・絵 ふくいんかんしよてん
福音館書店 《53》

月までは、とっても遠いんだ。階段をのぼるスピードで100年、新幹線のスピードなら55日かかる。戦闘機のスピードなら6日で行けるけど、ひこうきでは宇宙に行けない。それはどうしてだろう?宇宙に行ったロケットの仕組みをみてみよう!

⑥ 『大力のワーニャ』

たいてりき
オトフリート・プロイスラー／作 さく
おおつかゆうぞう やく いわなみしよてん
大塚勇三／訳 岩波書店 《Fプ》

なまけもののワーニャは森で盲目の老人にであい、皇帝になるための方法を告げられる。ワーニャは老人のいうとおりに、パンやきかまどの上で7年間ねて大力を身につける。そして人々を苦しめる怪物や魔女と戦いながら、皇帝の冠が待つ遠い国を目指す。

⑦『食べているのは生きものだ』

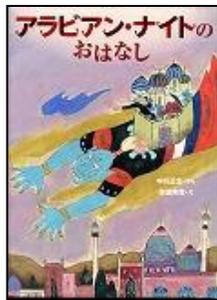
もりえだ たかし ぶん しゃしん
森枝 卓士／文・写真
ふくいんかんしよてん
福音館書店 《38》

「食べているのは生きものだ」
と考えたことはありますか？
肉も魚も野菜も私たちは生き
ものを食べて生きています。世界
の食べものを見ながら、普段何気
なく食べている肉や野菜につい
て考えてみてはいかがでしょう
か。

⑨『アラビアン・ナイトのおはなし』

なかがわまさふみ 赤あばすえきち
中川正文／ぶん 赤羽末吉／え のら書店 《M》

ある日のこと、アリババが森へいくと、馬にのった
四十人のとうぞくがあらわれました。木の上から見
ていると、かしらがこうさげびました。「ひらけ、ご
ま！」するとびっくり！しげみのおくの岩の戸がする
するとひらいたのです（「アリババと四十人のとうぞ
く」）。むかしむかしのペルシアのおはなし、ほか2話。



⑩『金色のキャベツ』

ほりごめ かおる さく さとう まきこ え
堀米 薫／作 佐藤 真紀子／絵 そうえん社 《Fホ》

明日から夏休み。それなのに5年生の風香の頭に
浮かぶのは、塾の夏期講習、英語の検定試験なんて
予定ばかり。そんな時にお父さんの弟の仁ちゃんか
ら荷物が届いた。中身は仁ちゃんが作ったキャベツと
「遊びにこい！」というメッセージ。次の日、風香は
お母さんにも言わずにひとりで電車に乗って…。



⑧『イルカのねむり方』

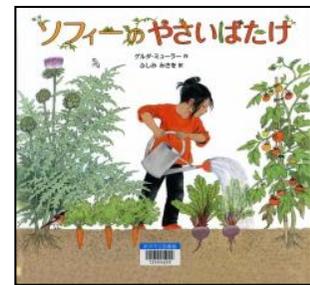
こうしましろう せきぐち ゆうすけ かんしゆう
幸島司郎・関口 雄祐／監修
きん ほししゃ
金の星社 《48》

イルカは人間と同じほにゆう
類。ホイッスル音で仲間と会話も
できるし、赤ちゃんは水中でおっ
ぱいものむ。頭の上にある鼻のあ
なを海面に出して呼吸をしている
イルカは、どうやってねむるのだ
ろう？イルカのひみつをさぐって
みよう！

⑪『ソフィーのやさいばだけ』

ゲルダ・ミューラー／作 ふしみみさを／訳 B L出版《Eミ》《62》

夏休みはいなかのおじいちゃんとおばあちや
んの家ですごすんだ。おじいちゃんがわたしにも
小さな畑をくれたから、やさいのたねをまいた
の。はたけにたねをまくのは、思ったよりずっと
むずかしかった。二十日たてばラディッシュが食
べられるんだって。



⑫『冒険者たち』

さいとう あつお さく やぶうち まさゆき が
斎藤 惇夫／作 薮内 正幸／画
いわなみしよてん
岩波書店 《Fサ》

嵐の夜、ガンバたちの宴会に血
まみれの島ネズミがあらわれた。
島では、ネズミがイタチに襲われ
ているという。この島ネズミは、助
けを呼ぶために命がけで脱出し
てきたのだ。島ネズミを救うため、
ガンバたちは立ち上がった。

⑬『かもとりごんべえ』

いなだかずこ へん
稲田和子／編
いわなみしよてん
岩波書店 《M》

九十九羽のかもをつかまえてい
たら、かもが羽ばたき、いっしょ
に空へ飛び上がった「かもとりご
んべえ」。雲の上に落とされたごん
べえは、雷さんの手伝いをする
ことに…。日本のゆかいな昔話
が50篇入っています。

⑭『てんぷらぴりぴり』

まどみちお さく すぎた ゆたか え
まどみちお／作 杉田 豊／絵
だいにっぽんとしよ
大日本図書 《91.1》

「ほら おかあさんが ことしも
また てんぷら ぴりぴり あげだ
した……」（「てんぷらぴりぴり」）
おいしそうな音が聞こえてきそう
だね。ほかにも動物の詩など、み
ぢかなおもしろい詩がいっぱい。

⑮『クローディアの秘密』

カニグズバーグ／作 松永ふみ子／訳
いわなみしよてん
岩波書店 《Fカ》

クローディアは家出を計画し、
弟を誘ってニューヨークのメト
ロポリタン美術館の中にかくれ住
むことにした。計画は、大成功！
そこで二人は、美しい天使像に
出会い、その秘密を探ることに…。